



国土交通省 近畿地方整備局
Kinki Regional Development Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

近畿地方整備局	配布日時	平成29年5月29日 14時00分
資料配布		

件名	瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会 平成29年度総会の開催 ～クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興～
----	---

概要	<p>「瀬戸内・海的路ネットワーク推進協議会(通称:海ネット)会長:尾花正啓(和歌山市長)」とは、107の瀬戸内海沿岸市町村が連携し、瀬戸内海地域全体の発展に資することを目的に、平成3年5月に設立された協議会です。</p> <p>この度、下記日程で平成29年度総会及び第11回瀬戸内首長サミットを開催いたしますのでお知らせします。</p> <p>○日時 平成29年6月2日(金) 14:00 ~ 18:20 ○場所 ホテルアバローム紀の国 (和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL 073-436-1200)</p> <p>※第11回瀬戸内首長サミットでは、「クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興」をテーマに参加首長が議論を行います。</p> <p>※当日、会場には報道者席を用意しておりますので、受付にお申し出下さい。</p> <p>※中国地方整備局と同時発表</p>
----	---

配布場所	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、 港湾空港タイムス 港湾新聞
------	---

問い合わせ先	国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 港湾計画課長 <small>みむら まさき</small> 三村 正樹 課長補佐 <small>なかがわ こうぞう</small> 中川 耕三 TEL 078-391-8361 FAX 078-325-8288
--------	---

平成29年5月29日

近畿地方整備局

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会 平成29年度総会の開催 ～クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興～

平成29年6月2日（金）和歌山県和歌山市において「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（通称：海ネット）会長：尾花 正啓（和歌山市長）」は、平成29年度総会及び第11回瀬戸内首長サミットを開催します。

第11回瀬戸内首長サミットでは、「クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興」をテーマに参加首長が議論を行います。

○日時 平成29年6月2日（金） 14:00 ～ 18:20

○場所 ホテルアバローム紀の国
(和歌山市湊通丁北2丁目1-2 TEL 073-436-1200)

○プログラム

【開会】14:00～14:20

- ・開会・歓迎挨拶
- ・来賓挨拶

【第1部】14:20～16:00

- ・平成29年度総会 平成29年度事業計画（案）・予算（案）等

【第2部】16:10～18:20

- ・第11回瀬戸内首長サミット
テーマ「クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興」（別紙参照）

当日、会場には報道者席を用意しておりますので、受付にお申し出下さい。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部 電話番号 (078) 391-8361 【直通】

(担当)	港湾計画課 課長	みむら まさき 三村 正樹
	港湾計画課 課長補佐	なかがわ こうぞう 中川 耕三

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会（海ネット）

別紙1

海ネットの設置目的

「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」（海ネット）は、瀬戸内海沿岸市町村相互の連携により、瀬戸内海の多様な資源を活かした人の流れを創り出し、防災ネットワーク機能の強化を視野に入れた瀬戸内・海の路の利用振興を図りつつアメニティー豊かな地域として沿岸地域全体の発展に資することを目的とし、平成3年5月に設立された。

海ネットの活動指針

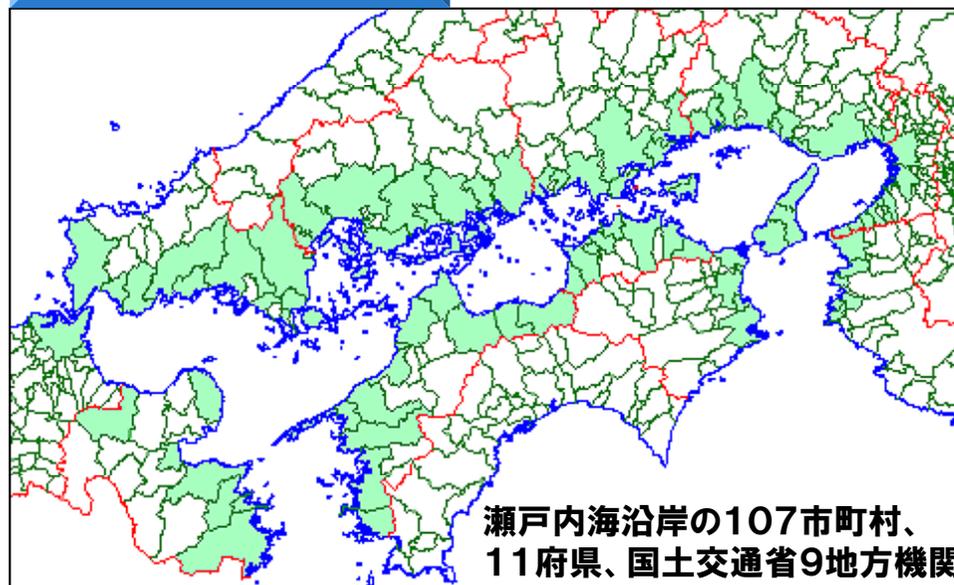
- 高速海上交通時代に対応した今日的意義のある「海の路の構築」、並びに地震津波に対応した防災ネットワークの整備
- 瀬戸内海の景観、歴史、文化、食、街並み等インバウンド観光時代における瀬戸内の魅力発信
- 失われた干潟、藻場の再生や災害、荒廃によるはげ山の修復等の瀬戸内海の環境創造

歴代会長

平成 3年～ 6年:姫路市長（戸谷 松司）
平成 7年～10年:坂出市長（松浦 稔明）
平成11年～14年:小松島市長（西川 政善）
平成15年～18年:玉野市長（山根 敬則→黒田 晋）
平成19年～20年:下関市長（江島 潔→中尾 友昭）
平成21年～26年:大竹市長（入山 欣郎）
平成27年～ :和歌山市長（尾花 正啓）※敬称略



海ネット会員



協議会の実施機関となる「実行委員会」

環境事業委員会

「受け継ごう きれいで豊かな瀬戸の海」を合い言葉とした「リフレッシュ瀬戸内」や、ゴミの組成調査「海の健康診断」等を実施し、環境美化活動へ活用するため、関連する調査結果を内外へアピールする。

魅力検討委員会

「瀬戸内・海の路利用振興事業」、「海ネットサポーター提案事業」により会員支援を実施。また、「瀬戸内」をキーワードとした取り組みについて積極的に連携等を図り、瀬戸内の魅力を発信する。

情報発信委員会

海ネット活動の成果などの情報発信を行うとともに、他の実行委員会と連携することで、より多くの人々に瀬戸内の魅力を認識していただき、興味をもってもらえるような情報を発信していく。

防災委員会

「瀬戸内・海の路ネットワーク災害時相互応援に関する協定」における締結拡大を図るとともに、協定運営協議会との情報交換等により、本協定の実効性の確保に向けた検討を行っていく。

瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会
平成29年度総会 参加予定首長(16名)

(敬称略)

大阪府	貝塚市長	ふじわら たつお 藤原 龍男
〃	高石市長	さかぐち しんろく 阪口 伸六
〃	岬町長	たしろ たかし 田代 堯
兵庫県	南あわじ市長	もりもと かずひろ 守本 憲弘
和歌山県	和歌山市長	おばな まさひろ 尾花 正啓
〃	海南市長	じんで まさみ 神出 政巳
〃	湯浅町長	うえやま あきよし 上山 章善
〃	由良町長	はたなか まさお 畑中 雅央
広島県	三原市長	てんま よしのり 天満 祥典
〃	大竹市長	いりやま よしろう 入山 欣郎
〃	江田島市長	あきおか しゅうさく 明岳 周作
〃	坂町長	よしだ たかゆき 吉田 隆行
香川県	坂出市長	あや ひろし 綾 宏
愛媛県	宇和島市長	いしばし ひろひさ 石橋 寛久
福岡県	苅田町長	よしひろ けいこ 吉廣 啓子
大分県	佐伯市長	たなか としあき 田中 利明

【第2部】第11回 瀬戸内海首長サミット

テーマ 「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信～クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興～」

<内 容>

近年、アジアをはじめ世界のクルーズ人口が増加するとともに、クルーズ船の大型化が進んでいます。2016年3月にとりまとめられた「明日の日本を支える観光ビジョン」において、「訪日クルーズ旅客を2020年に500万人」という新たな目標が設定され、昨年の訪日クルーズ旅客数は前年比78.5%増の約199万人となり、寄港回数も前年比38.8%増の2018回と過去最高となりました。

また、当観光ビジョンのなかでは、瀬戸内海など新たな国内クルーズ周遊ルートの開拓、ラグジュアリークルーズ船の就航が述べられています。

瀬戸内海は、多島美を有する景観、歴史、文化など多様な地域資源があり、海外からの関心も高く、非常に多くの人々を魅了してきました。このような瀬戸内の魅力を活かした取り組みを進めていくことが、活力ある地域の発展には重要と考えます。

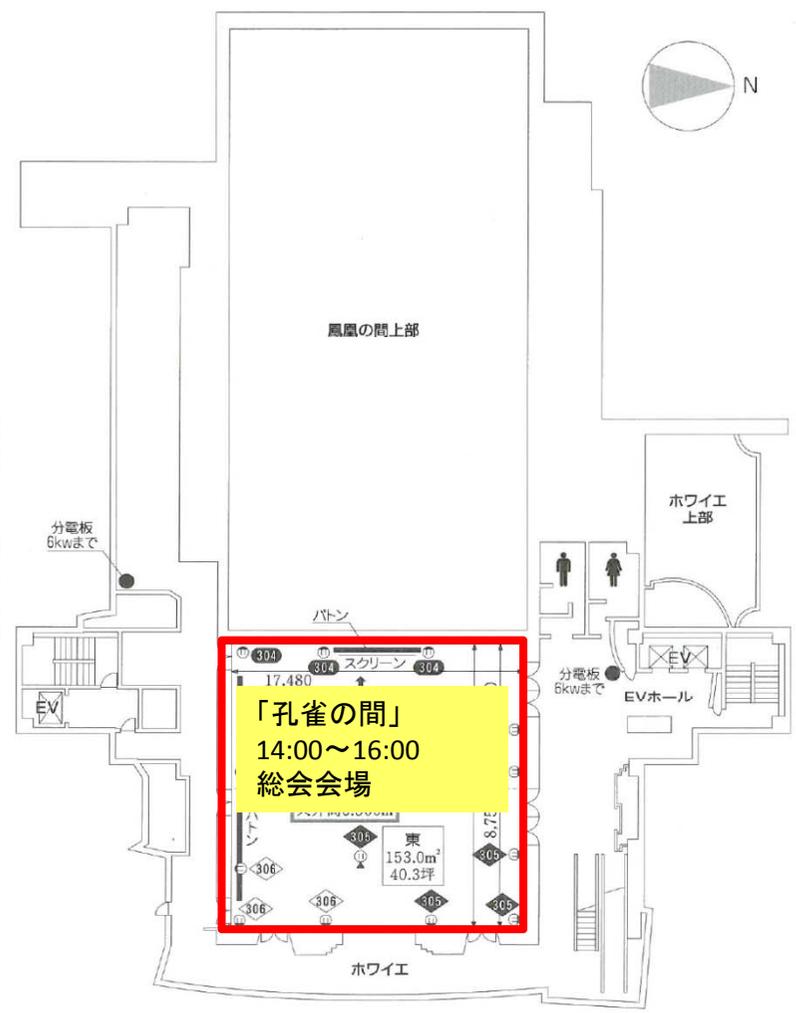
瀬戸内の魅力を活かした取り組みの一つとして、瀬戸内の地域資源を活かしたクルーズ文化を確立していくことにより、交流人口増加等による地域経済の発展、またクルーズ船が寄港することにより国内外へ地域の魅力が発信され、地域の魅力の再発見にもつながると考えます。

今回は「瀬戸内の魅力を世界へ向けて発信～クルーズ等による瀬戸内の地域資源を活かした観光振興～」と題して、海ネット会員同士が連携して、瀬戸内クルーズ振興とその魅力を発信するためのブランド化を目指すには、どのような取組を進めていけばよいか活発な議論を交わしていただきます。

瀬戸内・海の路ネットワーク総会、首長サミット 会場



2階 ●電気容量については、コンセント同一番号合計で、2kwまでになります。
●催時短 分電板については電気が必要になります。(工事については)



3階 ●美術バトンは3カ所 (7m・150kgまで) になります。
●スクリーンは1カ所 (150インチ W2050×H2300) になります